

近畿ろうきん 社会貢献預金（笑顔プラス） 寄付金を活用した活動報告

社会貢献預金（笑顔プラス）は、預金者の寄付負担（金利引下げ分の利息相当額）と近畿ろうきんからの拠出金の合計額を毎年度、NPO・市民団体に寄付を行う定期預金です。

2024年6月の寄付金は総額2,750,052円となり、当金庫から各団体に寄付を行いました。また、2018年度からの累計の寄付総額は1,684万円となりました。

残高：128億76百万円 (2024年3月31日現在)	預金者からの寄付負担： 250,052円 当金庫からの拠出金：2,500,000円	寄付金額：地区別団体 218,754円 (1団体あたりの寄付金) 近畿共通団体 281,256円 (1団体あたりの寄付金)
--------------------------------	--	--

滋賀地区 〈国際協力・環境保全〉

公益財団法人 国際湖沼環境委員会

2023年度にいただきました寄付金は、11月に当財団が主催しました第19回世界湖沼会議（ハンガリー・パラトンフュレド）への湖沼環境保全の次世代リーダー育成を目的とした学生派遣費用として活用させていただきました。



理事長 竹本 和彦



奈良地区 〈環境保全・地域づくり〉

NPO法人 奈良ストップ温暖化の会

奈良公園は鹿の印象が強く、見過ごしてしまう自然が多くあります。奈良公園から続く春日山原始林を実際に歩き、価値を感じてもらうとともに、気候変動等で荒廃等が進む現在の状況について知ること、自然環境への理解を深め、保全の意識をはぐくみました。



理事長 北浦 由香



大阪地区 〈日本初の地域型の子どもホスピス〉 公益社団法人 こどものホスピスプロジェクト

昨年に引き続き、医師から感染症予防等の理由で、公共交通機関の制限等を受けたご家族向けに、TSURUMIこどもホスピス利用の際のタクシーを利用するなど、子どもたちの個別な利用を支えるべく交通費に使わせていただきました。ありがとうございました。



代表理事 高場 秀樹



大阪地区 〈女性・マイノリティ支援〉 認定NPO法人 いくの学園

サバイバー（被害当事者）支援拠点の運営維持：シェルターへ緊急避難された人のための給食費と交通費（ボランティアやスタッフの同行支援費含む）などに活用しました。そして、生活を立て直すために様々な機関（病院、法律事務所、不動産屋、役所、DVセンター等々）に同行しました。



理事長 雪田 樹理



大阪地区 〈障がい者生活支援〉 NPO法人 日常生活支援ネットワーク

関西の障害者支援団体50団体が参加し、全国での被災障害者救援活動と結びつき、年に一度みなが一堂に会する、第14回「被災障害者⇄関西ポジティブ生活文化交流祭」を大阪市立長居公園で開催しました。また、被災障害者救援活動や地域での障害者の活動を一般にも周知する活動も実施しました。



理事長 柿久保 浩次



兵庫地区 〈災害・病気等の遺児支援〉

一般財団法人 あしなが育英会

東日本大震災津波遺児へのグリーンサポートプログラムを継続して行いました。活動拠点のレインボーハウスは2024年で竣工10年です。3月には、在住県を問わず仙台のレインボーハウスに震災津波遺児家庭が集い、語り合うプログラムを開催しました。



会長 玉井 義臣



兵庫地区 〈国際協力・被災地支援〉

NPO法人 CODE海外災害援助市民センター

2022年2月に発生したウクライナ戦争による避難民（神戸市内在住42名）を支援する「MOTTAINAIやさい便」の活動や避難民の子どもへの子守りボランティアに参加するCODE未来基金の学生たちの活動に活用させていただきました。



代表理事 室崎 益輝



京都地区 〈地域づくり・防災〉

NPO法人 京都丹波・丹後ネットワーク

昨今の物価高騰により、厳しい生活を余儀なくされている人が増加傾向にあります。2023年度は行政や専門家、地元スーパーなど多様な組織や人との連携を重視し、外国にルーツのある子ども家庭やひとり親家庭、独居の高齢者等への食料支援の際に傾聴を行い、課題解決に結びつけました。



理事長 牧 紀男



京都地区 〈子ども支援・貧困対策〉

NPO法人 山科醍醐こどものひろば

京都市山科区と伏見区醍醐地域在住の家庭的に困難を抱える子どもたちに、食事・学習・余暇支援などを実施しました。不登校、虐待、経済的貧困など課題を抱えている子どもたちのために、年齢の近い学生ボランティアなどが子どもたちとの信頼関係を築き、安心・安全でホッとできる居場所をつくってきました。



理事長 品田 真孝



和歌山地区 〈地域づくり・防災〉

認定NPO法人 わかやまNPOセンター

岩出市、紀の川市において、河川・水路の氾濫による浸水被害、ため池の崩落による被害への防災計画、避難行動を学びました。また、和歌山大学の学生が作成した防災カルタを使って、親子で自然災害への防災・減災を考える機会を提供し、いざという時の避難行動に繋げて行く認識を参加者全員で共有しました。



理事長 志場 久起



近畿共通 〈災害支援・防災〉

認定NPO法人 日本災害救援ボランティアネットワーク

シンポジウム「あれから30年 NVNAD2025プロジェクト～みんなが助かる社会をめざして～」を、西宮市内で3回開催しました。また、2023年7月には和歌山県海南市にて災害ボランティア活動に参加、12月には西日本豪雨災害の被災地である倉敷市真備町を訪問し、被災者と交流を行いました。



理事長 檜垣 龍樹



近畿共通 〈国際協力〉

NPO法人 関西NGO協議会

高校生を対象とした「ワン・ワールド・フェスティバル for Youth 2023」を12月に開催しました。高校生実行委員やNGO等の主催企画として12のプログラムを実施し、難民・環境・人権などの社会課題や国際協力についてのキャリアについて学び、地球規模課題の解決に向けたアクションを起こす機会をつくることができました。



代表理事 三輪 敦子

